



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 ウェルネット株式会社
コード番号 2428 URL <http://www.well-net.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮澤 一洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 猪飼 俊哉

TEL 03-3580-0199

四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	5,041	18.7	1,101	20.7	1,110	21.3	743	26.6
27年6月期第2四半期	4,246	14.1	913	14.1	915	13.6	587	16.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	78.52	77.92
27年6月期第2四半期	60.38	60.13

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年6月期第2四半期	19,980	19,980	7,872	7,872	39.2	841.57
27年6月期	19,667	19,667	8,218	8,218	41.6	856.21

(参考)自己資本 28年6月期第2四半期 7,833百万円 27年6月期 8,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	66.00	66.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	8.0	2,000	22.1	1,920	26.3	1,260	34.3	133.30

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期2Q	9,700,000 株	27年6月期	9,800,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年6月期2Q	392,399 株	27年6月期	247,654 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期2Q	9,472,164 株	27年6月期2Q	9,731,081 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績に支えられ景気は緩やかな回復基調にあるものの、先行きへの慎重な見方が生じてきており、消費市場はインバウンド効果等一部を除き、全体的には個人消費は未だ力強さに欠ける状況が続いています。一方、当社の事業が立脚する物販・サービス等のEC市場においては、スマートフォンの普及等の影響もあり、引き続きBtoC市場は持続的な成長を続けているほか、CtoC市場も拡大が見られております。

このような情勢のもと、当社は平成25年8月に公表した「中期経営3か年計画（2013年7月－2016年6月）」の最終年度に当たり、当初から目標に掲げている営業利益20億円及びROE15%を達成するべく、諸施策を推進・実行しております。

中期経営3か年計画の中核をなすのは次世代を担うビジネススキーム確立とカイゼン（機能拡充・システム安定運用・コストパフォーマンス向上）の両輪であります。ビジネススキームの確立に関しては、バスの革新的直売モデル、バスIT化ソリューション「バスもり！ナビ」（コンシューマ向けバス検索サービスアプリ）、「バスもり！MONTA」（バス会社向けリアルタイム在庫管理用車載端末アプリ）を一昨年稼働させ、当ソリューション効果の実証段階に入りつつあります。コンシューマ向けアプリケーション開発は、今後のウェルネットには欠かせないものとして、研究開発を進めており、本年夏ごろの開発完了を予定しております。また、今後は請求書のペーパーレス化が進み電子決済の流れも加速するものと見込んでおります。これらペーパーレス化マーケット拡大に的確に対応できるソリューションを投入することで業績拡大に取り組んでまいります。

カイゼンについては、運用の自動化、標準化の推進を推進することでコストパフォーマンス向上を目指しております。また、安定運用のためのカイゼンも合わせて推進しております。

当第2四半期累計期間において、夏場の天候が昨年に比べ安定的であったこと及び国内旅行市場の増加傾向により、バス・航空など交通関係も順調に推移しており、また、BtoC市場は持続的な成長を続けているほか、CtoC市場も拡大が見られており、既存契約事業者の取扱増加に加え、新規事業者開拓も積極的に進めてきました。一方で、PINオンライン販売サービスの取扱は減少傾向が継続しております。

以上の結果、当社の当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高5,041百万円（前年同期比18.7%増）、営業利益1,101百万円（前年同期比20.7%増）、経常利益1,110百万円（前年同期比21.3%増）、四半期純利益743百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

なお、今期からは従来のサービス別に分類しての開示を「決済およびその付随サービス」に変更いたします。その理由は以下の通りです。

- ①当社のビジネスは決済をコアとしその周辺サービスの拡充を図っておりますが、対価を「決済手数料」として得るケースが殆どであり、「決済」と「周辺」の区別が難しく、場合によってはその解釈によって変わり得る性格のものもあり、サービス別の公表がふさわしくないこと。
- ②大口認証サービス終了後、純然たる電子認証サービスの金額も相当低減しており、また必ず決済が絡んでいるため、事実上決済手数料として対価を得ていること。
- ③オンラインビジネスサービスはもともとコンビニエンスストアとの間の決済インフラを活用しており、資産の区分けも困難であり、「決済周辺サービス」と位置付けられること。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

当第2四半期累計期間末における総資産は19,980百万円となりました。流動資産は18,383百万円であり主な内訳は現金及び預金11,101百万円、有価証券4,998百万円であります。現金及び預金には、回収代行業務に係る収納代行預り金が8,729百万円含まれておりますが、これは翌月の所定期日には事業者に送金されるものであり一時的に当社が保管するものであります。固定資産は1,597百万円であり、内訳は有形固定資産419百万円、無形固定資産447百万円、投資その他の資産730百万円であります。

一方、負債合計は12,108百万円となりました。主な内訳は収納代行預り金8,729百万円、営業未払金1,723百万円であります。

純資産合計は7,872百万円となりました。主な内訳は株主資本7,832百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は13,102百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は999百万円となりました。主な増加要因は税引前四半期純利益1,110百万円、主な減少要因は法人税等の支払額347百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は85百万円となりました。主な減少要因は有価証券の取得による支出1,898百万円、主な増加要因は有価証券の償還による収入1,900百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は1,105百万円となりました。主な減少要因は、自己株式の取得629百万円、配当金の支払475百万円であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、平成28年6月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,293,918	11,101,996
売掛金	464,908	558,464
営業未収入金	725,439	931,525
有価証券	2,999,733	4,998,997
商品	2,741	2,554
仕掛品	5,509	11,713
貯蔵品	1,816	1,841
その他	496,836	776,460
流動資産合計	17,990,905	18,383,555
固定資産		
有形固定資産	437,979	419,221
無形固定資産	433,431	447,817
投資その他の資産	805,070	730,152
固定資産合計	1,676,481	1,597,192
資産合計	19,667,387	19,980,747
負債の部		
流動負債		
買掛金	434,101	534,172
営業未払金	1,356,850	1,723,566
収納代行預り金	8,732,688	8,729,949
未払法人税等	351,350	380,158
その他	410,007	568,659
流動負債合計	11,285,000	11,936,506
固定負債		
株式給付引当金	25,314	28,358
資産除去債務	6,745	6,795
長期未払金	119,007	119,007
その他	13,055	17,836
固定負債合計	164,123	171,997
負債合計	11,449,123	12,108,504

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	667,782	667,782
資本剰余金	3,509,216	3,509,216
利益剰余金	4,651,664	4,666,743
自己株式	△650,078	△1,011,083
株主資本合計	8,178,584	7,832,659
評価・換算差額等	202	358
その他有価証券評価差額金	202	358
新株予約権	39,475	39,224
純資産合計	8,218,263	7,872,243
負債純資産合計	19,667,387	19,980,747

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,246,922	5,041,516
売上原価	2,933,388	3,560,032
売上総利益	1,313,533	1,481,483
販売費及び一般管理費	400,441	379,838
営業利益	913,091	1,101,645
営業外収益		
受取利息	6,491	5,819
受取配当金	—	565
その他	2,347	2,610
営業外収益合計	8,839	8,995
営業外費用		
支払利息	76	43
上場関連費用	6,000	—
自己株式取得費用	—	71
営業外費用合計	6,076	114
経常利益	915,855	1,110,526
税引前四半期純利益	915,855	1,110,526
法人税、住民税及び事業税	320,226	367,575
法人税等調整額	8,093	△768
法人税等合計	328,319	366,807
四半期純利益	587,535	743,718

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	915,855	1,110,526
減価償却費	90,254	102,233
受取利息及び受取配当金	△6,491	△6,385
支払利息	76	43
営業未収入金の増減額（△は増加）	△38,313	△206,086
売上債権の増減額（△は増加）	△137,424	△93,556
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,519	△6,042
営業未払金の増減額（△は減少）	△4,684	366,716
仕入債務の増減額（△は減少）	106,712	113,434
収納代行預り金の増減額（△は減少）	2,984,527	△18,295
その他	△251,561	△29,479
小計	3,655,429	1,333,108
利息及び配当金の受取額	25,761	13,941
利息の支払額	△85	△43
法人税等の支払額	△306,492	△347,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,374,612	999,904
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,100,000	△1,100,000
定期預金の払戻による収入	1,100,000	1,100,000
有価証券の取得による支出	△2,399,062	△1,898,456
有価証券の償還による収入	900,000	1,900,000
投資有価証券の償還による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△29,844	△21,006
無形固定資産の取得による支出	△67,018	△66,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,295,925	△85,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△629,885
長期借入金の返済による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△455,894	△475,346
リース債務の返済による支出	△654	△654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466,548	△1,105,885
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,612,138	△191,485
現金及び現金同等物の期首残高	15,702,429	13,293,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,314,568	13,102,167

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。